

## ◎大石県政のスタートにあたり

12年ぶりに県のトップが交代しました。

まず12年間、県政推進に取り組んで頂いた中村知事に対して感謝致します。多くの県政課題に対して何事にも実直に真摯に取り組む姿は私達の範でありました。しかしながら「新幹線」「石木ダム」「諫早湾干拓」「県庁舎跡地」という県政の重要課題は進展がなく、本県の最大の課題である「**人口減少問題**」についても実績として歯止めをかけることはできませんでした(H22比較で12.4万人減)。

特に選挙期間中に報道のあった**2021年の30~40代の九州各県の転入超過率は、長崎県だけがマイナスの数字**はその深刻さを表しています。

知事が変わりどれだけドラスティックに県政が変わるのか、大石県政に私は大きな期待をしています。県政の一丁目一番地の人口減少対策については、私自身は「**雇用の創出**」「**県民の幸福度の徹底的追求**」「**教育の充実**」こそが最重点で取り組む課題との認識をしています。ある先輩県議は「お手並み拝見」とマスコミの質問に答えておられ新聞活字となっていました。私は積極的に意見し大石県政を支えていく覚悟でいます。

新知事には政策の優先認識だけではなく、取り組む「手法」を変えることも求められています。佐賀県知事や石木の住民に対し、また人口減少対策にはどのようなアプローチをしていくのか…私は、早速、人口減少対策の手法として「**市町との連携が十分でない**」と認識しており、**私の提案で3年前に各市町毎に「人口減少対策チーム」が設置**されましたが、

そこでの課題抽出に終わっている現状を、「**課題の見える化**」「**県と各市町での(人口減少に対する)連携協定**」「**基本計画策定**」という新たな手法を具体的に提案したいと考えています。

あわせて党活動では、今般の選挙での出口調査で自民支持層の6割が現職を支持していることについて、推薦候補が勝利したとはいえ、**今後信頼を取り戻す活動**が急務であります。個人としても党組織の一員としても精力的に取り組みます。

来週から議会が始まります。今回は残念ながら個人質問はありませんが、予算決算委員会での総括質疑を希望しています(後日決定)。任期も残り一年、ラストスパートです。

### ■3月定例会 日程

7(月)	予算決算委員会理事会/議会運営委員会	18(金)	本会議(一般質問、議案・請願委員会付託)
8(火)	全員協議会	22(火)	予算決算委員会(総括質疑)/常任委員会
9(水)	全員協議会	23(水)	分科会・常任委員会
10(木)	全員協議会/議会運営委員会	24(木)	分科会・常任委員会
14(月)	本会議(開会)/議会運営委員会/予算決算委員会	25(金)	分科会・常任委員会
		29(火)	予算決算委員会理事会/予算決算委員会/議会運営委員会
17(木)	本会議(一般質問)	30(水)	本会議(委員長審査結果報告、質疑・討論、採決、閉会)



県	転入超過率
福岡	0.16%
佐賀	0.13
長崎	▲0.21
熊本	0.24
大分	0.08
宮崎	0.34
鹿児島	0.31
沖縄	0.32
九州・沖縄	0.18

(注) 転入超過率は転入超過数の人口に占める割合、▲はマイナス。総務省「住民基本台帳人口移動報告」から算出

